

2002年11月15日

2003年3月期 中間決算説明会

業績の状況

経営方針の推進状況

主要開発品の状況

杏林製薬株式会社

2003年3月期 中間決算概観(連結)

KYORIN

売上面では、海外売上高がBMS社のテクイン過剰在庫問題により前年を大きく下回りましたが、6月のガチフロ錠の上市、キプレス錠の続伸などにより、国内の医療用医薬品売上高が拡大し、連結売上高は318億円(前年比8.8%増)の増収となりました。

利益面では、経常利益49億円(前年比24.3%増)、当中間純利益15億円(前年比78.5%増)の増益となりました。

通期(2003年3月期)では、連結売上高719億円(前年比15.2%増)、連結経常利益143億円(前年比17.1%増)、連結当期純利益54億円(前年比31.2%増)を見込んでおります。

	01年3月中間期	02年3月中間期	03年3月中間期	前年比	連単倍率	03年3月期 見込み	前年比
売上高	26,210	29,293	31,878	8.8%	1.02	71,900	15.2%
営業利益	3,518	3,831	4,806	25.4%	1.01	14,300	19.6%
経常利益	3,778	3,946	4,904	24.3%	1.06	14,300	17.1%
当期利益	985	871	1,555	78.5%	1.18	5,400	31.2%
EPS	17.11円	15.14円	18.05円			62.66円	31.2%
株主資本	98,522	100,107	103,228	3.1%	1.01		
総資産	119,249	127,483	135,017	5.9%	1.01		

2001年11月20日付けをもって額面普通株式1株を1.5株に分割

2003年3月期 中間業績の状況(単体)

KYORIN

単位：百万円

	02年3月中間期 (実績)	03年3月中間期 (実績)
売上高	28,695	31,164
国内医療用	21,116	26,212
海外医療用	5,984	3,191
その他	1,595	1,759
営業利益	3,788	4,739
経常利益	3,874	4,626
当期利益	867	1,319

< 当中間期のポイント >

売上高 31,164百万円 (+25億円)

< 国内医療用 > 26,212百万円 (+51億円)
= プラス要因 =

	前期実績	当期実績
新薬：・ガチフロ上市	0	19 (+19)
		* 杏林売上のみ
・キプレス続伸	17	25 (+8)
・その他	11	42 (+31)
(その他のプラス要因)		
* 大日本製薬へのガチフロ売上及び契約一時金収入		

= マイナス要因 =

* 薬価改定に伴う仕切価の低下 (薬価改定率 8.2%)

主要既存品計	前期実績	当期実績
	183	176 (-7)
・アブレース	21	18 (-3)
・ロカルトロール	19	16 (-3)

< 海外医療用 > 3,191百万円 (28億円)

・ガチフロ 48 19 (-29)

* BMS社の過剰在庫によりガチフロキサシンの輸出大幅減

< その他 > (+2億円)

・ミルトン 14 16 (+2)

営業利益 4,739百万円 (+10億円)

・営業利益率は15.2%と2.0ポイント上昇

原価率は... 2.0ポイント低下 (31.9% 29.9%)

販管費率は... 前年比±0 (54.9% 54.9%)

当期利益 1,319百万円 (+5億円)

・投資有価証券評価損 (約3億円)

・退職給付債務の償却 (約1.6億円) 3年償却最終年

配当 7円50銭

2003年3月期 業績の見込み(単体)

KYORIN

単位：百万円

	02年3月期 (実績)	03年3月期 (見込み)
売上高	61,131	70,600
国内医療用	45,626	59,500
海外医療用	12,127	7,500
その他	3,378	3,600
営業利益	11,865	14,300
経常利益	11,816	14,000
当期利益	3,785	5,200

< 通期のポイント >

売上高 70,600百万円 (+95億円)
 < 国内医療用 > 59,500百万円 (+139億円)
 = プラス要因 =

	前期実績	当期実績
新薬：・ガチフロ上市	0	85 (+85)
* 杏林売上のみ		
・キプレス続伸	31	71 (+40)
・その他	32	49 (+17)
(その他プラス要因)		
* 大日本製薬へのガチフロ売上及び契約一時金収入		

= マイナス要因 =

* 薬価改定に伴う仕切価が低下 (薬価改定率 8.2%)

主要既存品計	前期実績	当期実績
・バクシダール	17	10 (-7)
・アプレース	43	34 (-9)
(ケタス75 85: +10、ペンタサ45 54: +9)		

< 海外医療用 > 7,500百万円 (46億円)

・ガチフロ 98 46 (-52)
 * BMS社の過剰在庫でガチフロキサシンの輸出大幅減
 < その他 > (+2億円)

・ミルトン 29 31 (+2)

営業利益 14,300百万円 (+24億円)

・営業利益率は20.3%と0.9ポイント上昇
 原価率、販管費率ともに低下を見込む
 原価率低下要因：ガチフロ効果 国内上市による本格生産、
 中間体コストの低減
 販管費率低下要因：研究開発費・新薬上市に伴う販売費は
 増加するも売上増で吸収
 その他コストの管理強化

当期利益 5,200百万円 (+14億円)

・退職給付債務の償却 (約31億円) 3年償却最終年

配当 15円00銭 (年間：増配)

主要製品の状況(1) ガチフロキサシン: 全体像

地域 (販売企業)	上市予定					提携 その他
	錠剤	注射	小児適応	点眼	点耳	
日本 杏林製薬	承認 02年6月 上市	Ph	上市后 着手予定	千寿製薬 Ph 02年度 申請予定	準備中	錠剤は大日本製薬と 併売 (1ブランド2チャネル)
米国 BMS社	上市 (1999年12月)	上市	Ph / (現在 Ph)	アラガン社 02年5月申請 03年上期上市 予定	導出検討中	BMSはシェリング・プラウ とのコ・プロモーションを 本年9月に解消
欧州 グリュネンタール社	ドイツ上市 01年11月	Ph /				その他上市国:チリ

< 発売国・地域 >

メキシコ、プエルトリコ、米国、ブラジル、アルゼンチン、タイ、シンガポール、オーストラリア、フィリピン、南アフリカ、カナダ、インドネシア、グアム、チリ、ドイツ、ベトナム、マレーシア、**ニュージーランド、エジプト、日本** 計: 20ヶ国

主要製品の状況(1) ガチフロキサシン: 海外の状況 BMS社

1. BMS社のテクイン販売状況(現状)

実需ベース: 1 - 6月の売上高は前年比**18.2%増**、処方箋枚数は前年比**1.6%増**となっている

BMS社売上高: 1 - 6月の実績は**\$64MM**と前年比**50%減**となっている

過剰在庫問題: ・BMS社報告により**過剰在庫は約\$100MMと判明**、**本年内に解消すると推測**

・下期よりバルク発注が再開予定

ラベリング変更の影響度: 「ラベリング変更を問題と捉えている医師は少ない」と報告を受けているが若干の影響はあると推測(ラベリング変更後新規処方箋枚数が減少 詳細は調査中)

2. 中間実績及び通期見込み *年度: BMS社は1 - 12月、杏林は4 - 3月

	2000年 実績	2001年 実績		03年3月期 (見込み)
BMS社売上(上期)	42	127	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> テクイン実需 \$220MM/年 過剰在庫 \$100MM </div>	64
(\$MM) (通期)	131	320		120
杏林売上(上期)	20	48		19
(億円) (通期)	55	98		46



3. 9月25日業績予想修正説明会以降の動き

シェリングプラウ社とのコ・プロモーション解消: 業績予想はBMS社単独での販売を想定し、本件折込み済

テクインの処方箋・売上動向: テクインの3Q実需(新規処方箋枚数; 前年比23%減 売上高; 前年比13%減 出典: IMS)

【BMS社の見解】第3Qの23%減少は主にGP層のみ。HP市場では現在22%上昇しており全体的には横バイと見ている。

(1 3Q 新規処方箋枚数; 4.8%減 売上9.1%増 出典: IMS)

【杏林の見解】当社としてはラベリング変更等の影響やBMSのモチベーション等も含め今後の動向を注意深く見ていく。

効能・効果の追加: 皮膚科領域の適応症追加

バルクの発注: 確定発注あり

主要製品の状況(1) ガチフロキサシン: 海外の状況 アラガン社

< 米国におけるガチフロキサシン点眼液の開発状況 >

= 開発の経緯 =

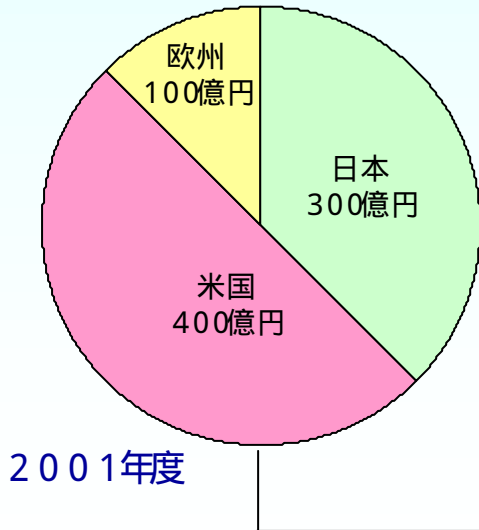
2000年8月: 米国アラガン社とガチフロキサシン点眼液のライセンス契約締結

2002年5月: FDAに申請

2003年上期: 承認予定

< 米国における抗菌点眼液の市場動向 >

日・米・欧の抗菌点眼剤市場

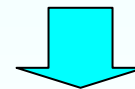


出典: 杏林製薬

オフロキサシン (アラガン) - 90億円
 シプロキサシン (アルコン) - 100億
 クイクシン (参天)
 * レボフロキサシン製剤
 アミノグリコシド系薬剤

⋮

- ・ 世界屈指の点眼剤メーカーであるアラガン社による販売
- ・ オフロキサシンの特許切れ (03年9月)



ピーク時: 現地売り
 100億円以上を期待

主要製品の状況(1) ガチフロキサシン：国内の状況

1. 2003年3月中間期実績及び2003年3月期見込み

03.3中間期(見込み)	実績	03.3期(見込み)
20億円	19億円	85億円

*2002年6月11日発売

2. 2003年3月期上期の状況

1) 上期は基盤固めに取組む

- ・上期は面拡重視の方針のもと納入軒数は、当初計画26,000軒を上回る約33,000軒を確保

2) 売上高は当初計画をショート(2002年5月発表 上期:46億円)

- ・500錠包装 中心から100錠包装中心の展開をした
- ・夏場感染症患者数は予想を下回った

3. 2003年3月期下期の対応

< 計画達成の根拠 >

面から個(施設シェアの拡大)への行動シフトによる売上拡大

- ・冬場1.5倍に増加するRTI市場をメインに処方獲得を目指す
- ・当初計画以上に納入したGP層の回転促進を図る



*GP層での納入軒数は確保され基盤は構築(上期)

下期:全納入軒数の約20%に行動を集中しコア先として育成、GP層の80%実績を確保する

HP層ターゲット先の早期納入と実績化

- ・ターゲット先採用率40%(上期) 70%(第3四半期)を達成し、専門医の育成とGP層への波及効果を図る
- ・大学病院の採用率は88%(上期)

主要製品の状況(2) キプレス: 上期の状況

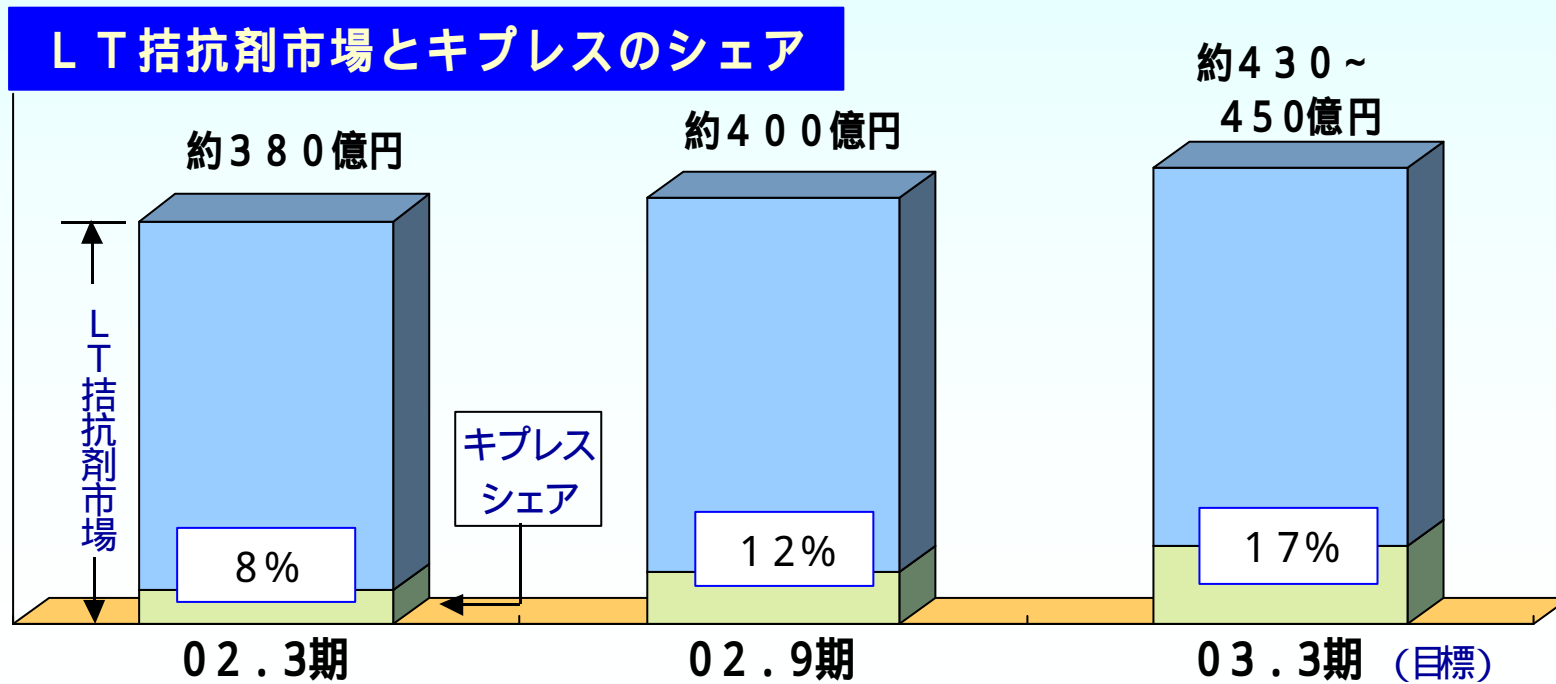
1. 2003年3月中間期実績及び2003年3月期見込み

02.3実績(中間期)		03.3中間期(見込み)		
(通期)		実績	03.3期(見込み)	
17億円	31億円	26億円	25億円	71億円

2. 2003年3月期上期の状況

HP層での使用量計画達成度にやや遅れはあるもののLT拮抗剤市場でのシェアは順調に伸長している

今期のLT拮抗剤市場での**シェア目標である17%獲得を目指す**



主要製品の状況(2) キプレス: 下期の展開

< 2003年3月期下期の対応 = マーケティング戦略 = >

長期処方許可による処方症例数の獲得!

* 発売後1年が経過し9月より長期処方が可能

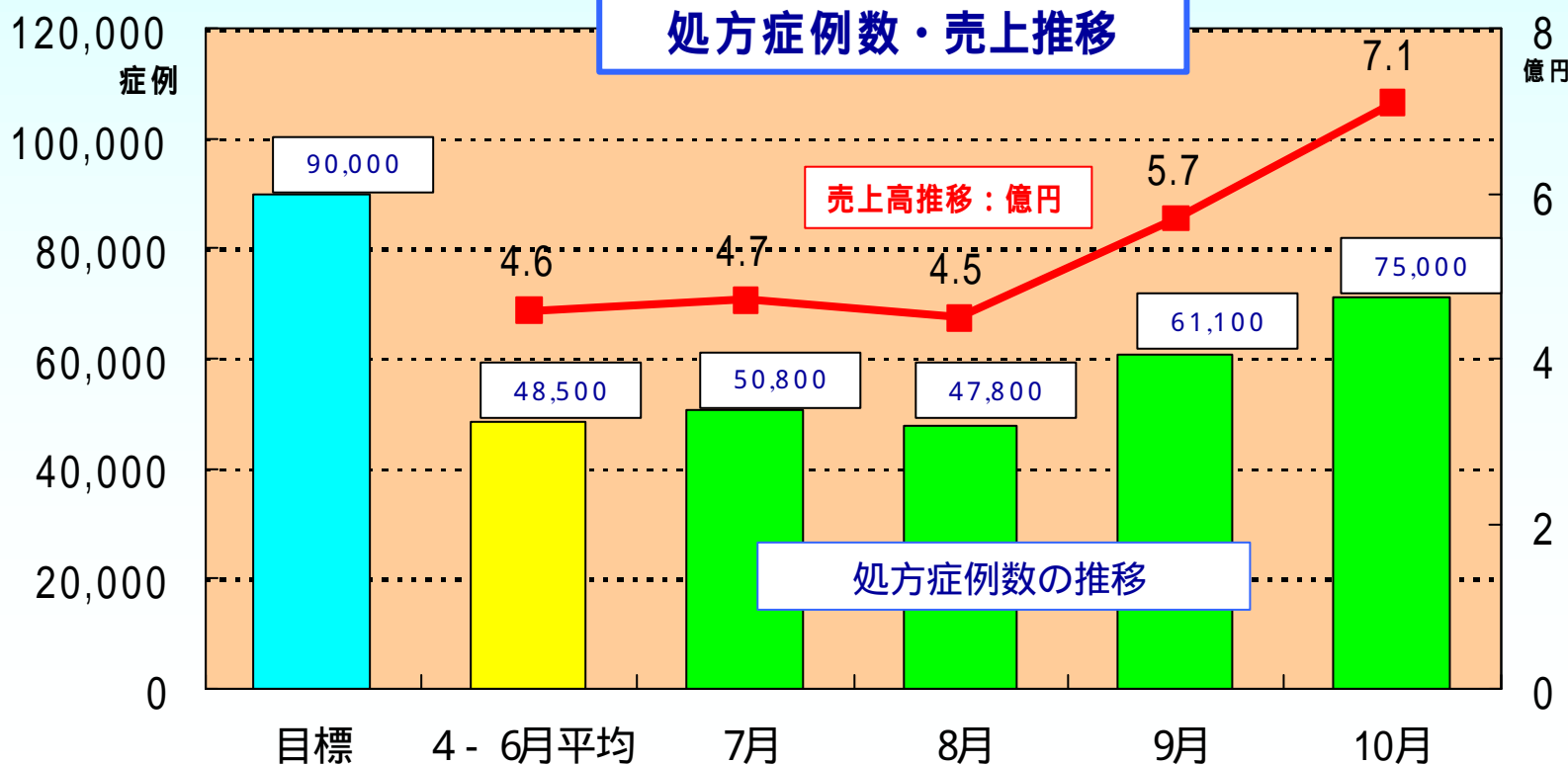
目標処方症例数 **90,000症例** の早期達成に取り組む

L T拮抗剤競合品の有用性比較による積極的切り替え

専門医へのコール回数アップ

専門医勉強会の定例化とセミナー継続開催

* HP層での勉強会定例化とGP層を中心としたセミナーを継続的に実施し認知度向上を図る



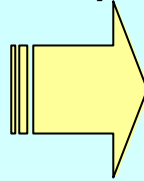
順調に処方症例数を伸ばしてきたが、9月の長期処方により、特にHP層での処方症例数の獲得が加速した。

注：売上高は薬価ベース
出典：杏林製薬

主要製品の状況(3) ケタス: 上期状況と下期対応

1. 2003年3月中間期実績及び2003年3月期見込み

02.3実績(中間期) (通期)
37億円 75億円



03.3中間期(見込み) 実績 03.3期(見込み)
36億円 36億円 85億円

2. 2003年3月期上期の状況

- (1) 月平均納入軒数は約10%増加
- (2) 薬価改定 9.4%により売上高は前年並み

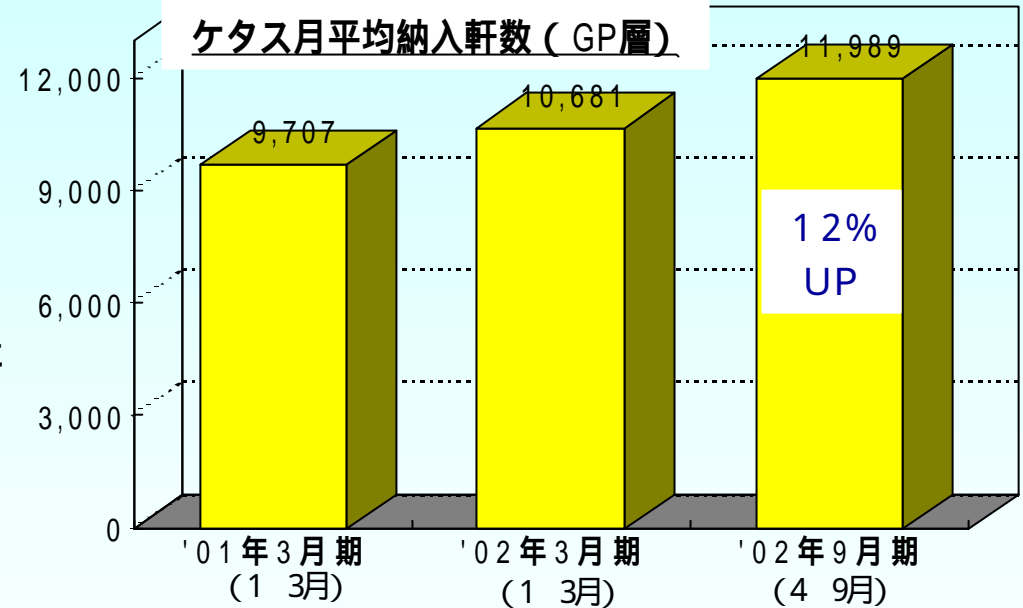
【理由】 医師の処方離れによる市場の縮小
 カラン、ニバジール処方症例獲得のための
 プロモーションを早期展開できなかった
 新薬上市によるコール回数の不足

3. 2003年3月期下期の対応

<マーケティング戦略>

- (1) 専門医、高需要先等への徹底したターゲットマーケティング展開
 * 学術グループにおける講演会・説明会の開催(全国70件)
- (2) 卸店施策 : インセンティブと卸MSとMRの協働強化(スーパーMS(*1) 導入検討による販売強化)
- (3) 慢性期脳梗塞治療ガイドラインへ(*2)の組み込み(12月)をバネにプロモーションを強化

*1) 卸店に所属するMSでありながら、特定製薬企業の主要製品を専属的にプロモーションする契約を結んだセールス。
 *2) ガイドラインとは：医師が適切な治療を行えるよう病気の種類別に、標準的な適切な治療法をまとめた文書。現在、各疾患において学会の専門医により作成が進められている。



トピックス: KRP - 297開発状況

(1) KRP - 297の概要

薬効: グリタゾン系インスリン抵抗性改善剤

特性: PPAR、のデュアルアゴニストである

インスリン抵抗性改善作用と糖尿病に伴う脂質代謝異常にも効果を示す

提携: 1999年9月米国メルク社に導出、開発および製剤・販売権を供与

(北米におけるコ・プロモーション、欧州におけるコ・マーケティングの権利は留保)

(2) インスリン抵抗性改善剤市場

	1999年	2000年	2001年
全世界	1,100	1,730	2,400
米国	1,000	1,600	2,200
日本	70	60	80
欧州他	30	70	120

単位: 億円

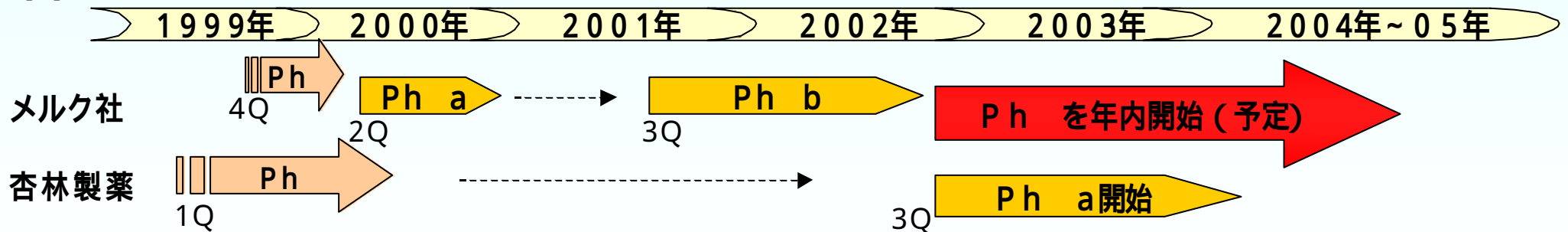
1\$ = 120円換算

出典: 杏林製薬

参考資料 抗糖尿病薬 市場合計

	1999年	2000年	2001年
全世界	7,700	10,100	12,300
米国	3,700	5,700	7,300
日本	1,300	1,600	1,800
欧州他	2,700	2,800	3,200

(3) 開発ステージ

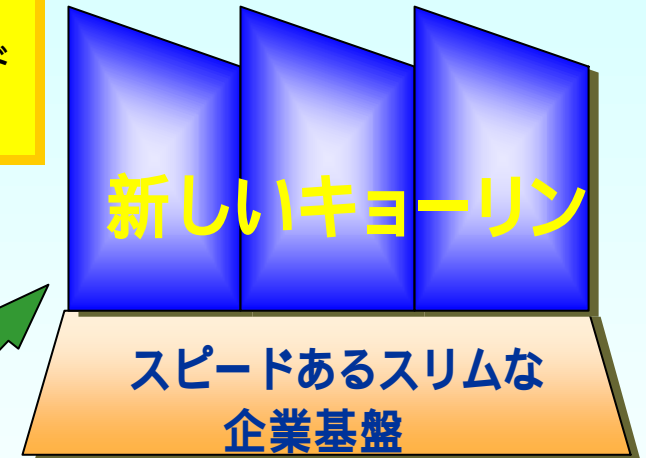


中期経営計画：キョーリンMIC計画の進捗度

新しいキョーリン像「FM領域において国際的な創薬力を有する新薬開発型企业」
 に向けて2001年度(2002年3月期)MIC-'05計画をスタート

キョーリンMIC計画

マーケティング(Marketing)、革新(Innovation)、挑戦(Challenge)をキーワードとし、将来につながる企業基盤の構築と活力ある企業風土を創造



MIC-'02計画 目標値

売上高	650億円
経常利益率	25%
ROE	7%
販管費比率	46%

MIC-'02

破壊

MIC-'05

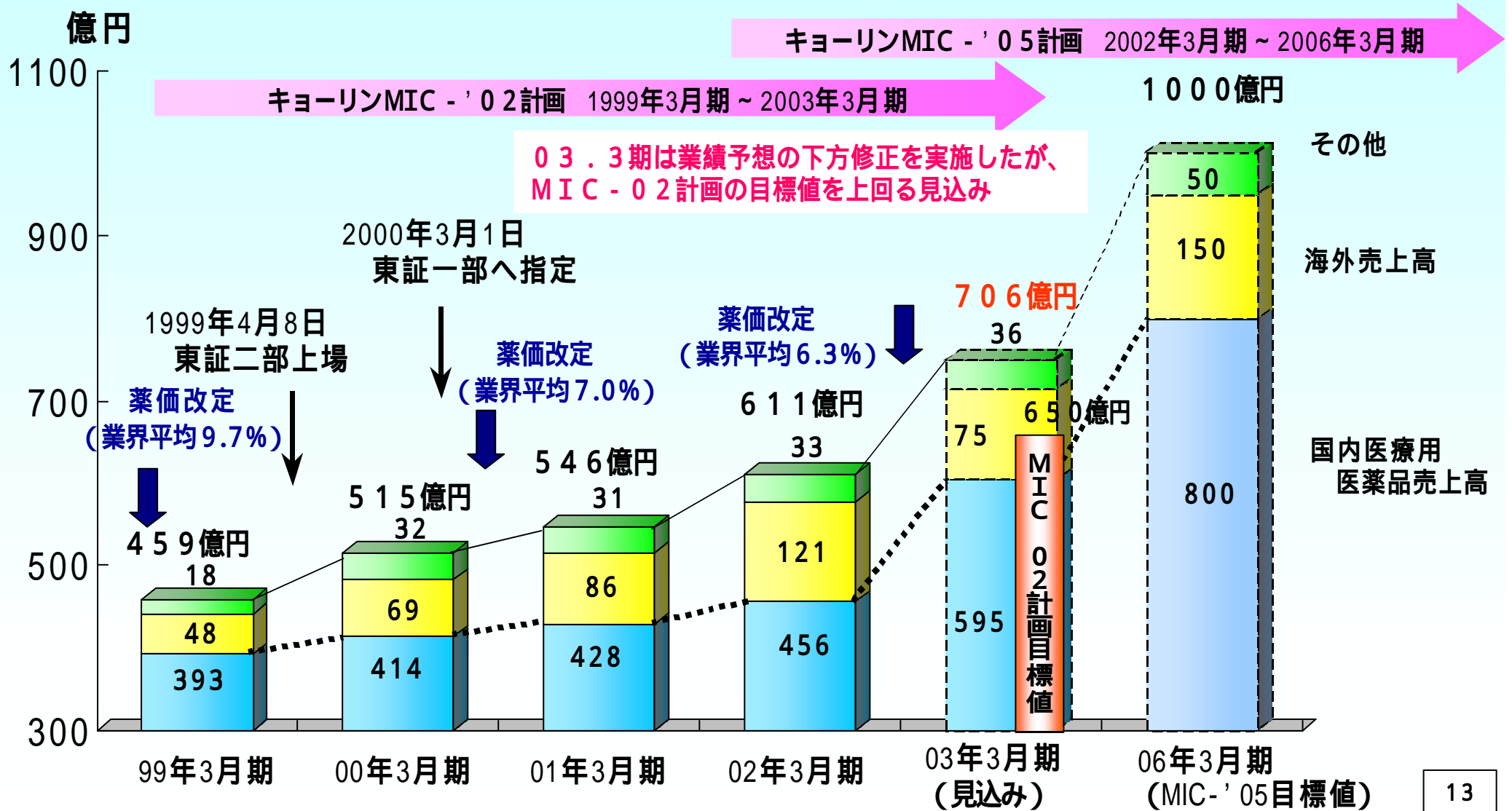
進化

MIC-'05計画 目標値

R&D費	150億円
売上高	1000億円
経常利益率	25%
人員	1700名
1人当り生産性	約6000万円/年



上場後の業績推移(単体)



2003年3月期 経営方針推進状況

< 基本方針 >

「進化と創造：新たな企業価値の創出」

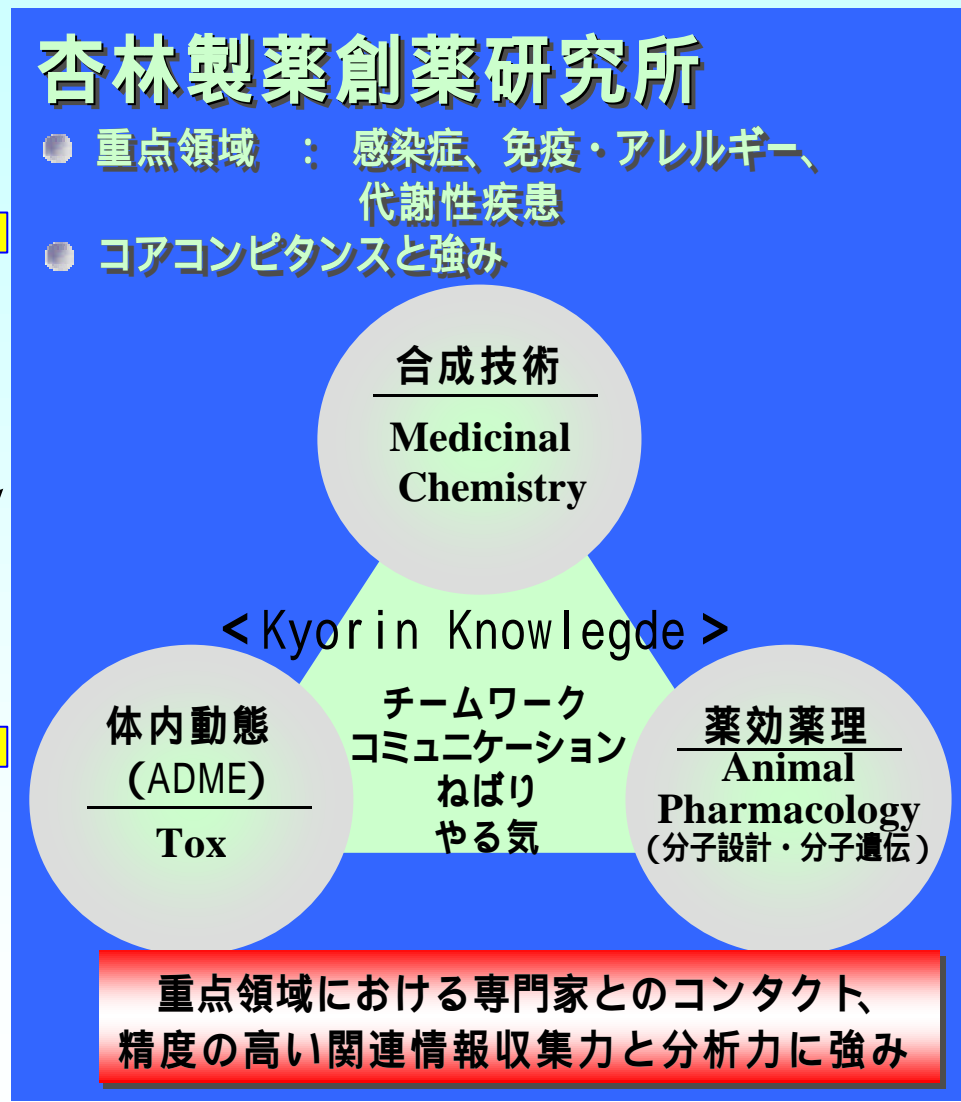
- 勝機をつかもう! -

< 基本項目 >

- 1 . 創薬研究基盤の拡充と新薬開発の加速化
- 2 . 薬価ダウンを吸収し、大型新薬による大飛躍を目指す
FC戦略の推進
- 3 . パイプラインのさらなる強化と海外基盤の育成
- 4 . 効率経営の徹底

1. 創薬研究基盤の拡充と新薬開発の加速化

(1) リード探索基盤の強化に向けた創薬研究ネットワークの更なる拡充



2テーマ / 年間



2 . 薬価ダウンを吸収し、大型新薬による 大飛躍を目指す F C 戦略の推進

1 . F C 戦略の推進

F C 3 科医師 (6 0 , 0 0 0 名) への面談率とコール回数の状況

● F C 医師面談率

指標 : 1 0 0 % 実績 7 8 . 8 % (前年比 + 8 . 5 %)

● F C 医師コール回数 (月平均)

指標 : 5 8 , 0 0 0 回 約 5 6 , 0 0 0 回 (前年比 + 1 3 . 7 %)

F C 3 科医師の処方率

● F C 処方率

指標 : H P 層 8 5 % 実績 : H P 層 7 8 % (前年比 + 1 ポイント)

 G P 層 7 0 % G P 層 7 4 % (前年比 + 7 ポイント)

2 . 上市後の E B M、P h b への取り組み

ムコダイン D S の小児適応拡大 (2 0 0 2 年冬承認見込み)

3. パイプラインの更なる強化と海外基盤の育成

1) パイプラインの強化とアライアンスの推進

国内外の業務提携強化・共同開発の推進

KRP-197、ガチフロ点耳、N-5984



海外導出・共同開発検討中

FC領域外製品の販売強化



コ・プロモーション、コ・マーケティングの検討

FC領域の製品ラインナップ強化

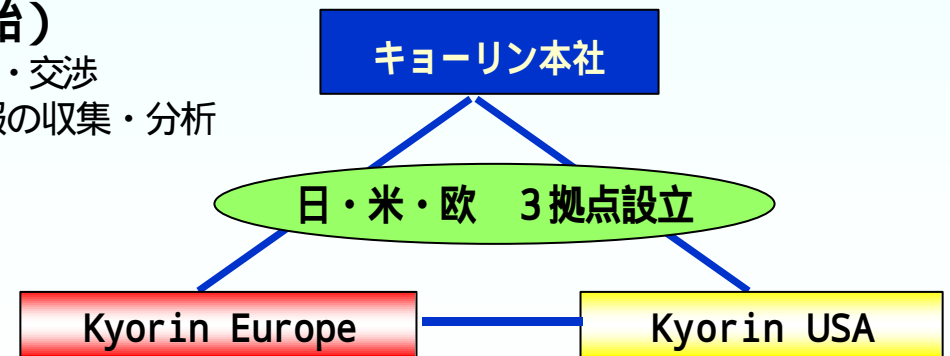


クロスライセンスによる導入（大日本製薬、アラガン、佐藤製薬）
呼吸器、耳鼻科、泌尿器科領域の製品補完
(完成品導入 / 共同開発)

2) 海外基盤の育成

Kyorin Europe GmbH の設立（3月業務開始）

- 業務内容
- ・他社技術の評価及び提携、ライセンスの調査・分析・交渉
 - ・医薬品研究開発及び薬事・医療行政に関する情報の収集・分析
 - ・ヨーロッパにおける臨床試験に関する業務
 - ・その他杏林製薬支援業務



4. 効率経営の徹底

1. コストダウンへの取組み

= 原価率 30% の堅持 =

- 品目整理（今年度 7 品目、来年度以降 4 品目を計画し推進中）
- 製造委託（今年度 2 品目実施予定、来年度以降注射剤を中心に数品目実施予定）を検討
- 包装の自動化を推進
- ダブルソースによる中間体コストの低減

2. 一層の間接部門の効率化、スリム化

- IT化による内勤業務の効率化：
営業所の内勤者 0 名体制の推進 内勤者の希望退職実施（約 30 名）
- ワークフローの拡充
= 直間比率の推移 =

	98年3月末	MIC計画開始	02年3月末	02年9月末
直接人員比率	70.3%		75.5%	76.5%
間接人員比率	29.7%	—————→	24.5%	23.5%
人員数	1,887人		1,671人	1,695人

開発品一覧

(2002年9月30日現在)

KYORIN

開発段階	製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	備考
申請 (02年2月)	N-3389 (錠)	制吐剤	日清製粉	5-HT ₃ と5-HT ₄ 拮抗作用を併せ持つ。	日清キョーリン製薬が単独で申請 *日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
申請 (01年11月)	マクサルト錠 マクサルトウエハース錠	片頭痛治療剤	メルク社	強力な5-HT _{1B/1D} 作動薬。片頭痛発現後の投与において速やかに効果を発現する。再発例に対しても改善効果を示す	日本国内における開発は万有製薬が実施し、杏林製薬が承認申請 独占的販売権を杏林製薬が取得
Ph	ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤。	マルホと共同開発
Ph	KRP-197 (錠)	尿失禁治療剤	自社	抗コリン作用が強く、口渇等の副作用軽減が期待される。	<海外> 英国においてPh 終了(CRO活用) <国内> *小野薬品工業と共同開発・販売
Ph	モンテルカスト	気管支喘息治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	剤形追加 用法・用量の変更 *万有製薬と共同開発
*Ph	KRP-297 (錠)	糖尿病治療剤	自社	インスリン抵抗性改善作用と糖尿病に伴う脂質代謝異常にも効果。	<海外> 米国メルク社に導出(99年9月) <国内> *万有製薬と共同開発
Ph	ガチフロ注	合成抗菌剤	自社		剤形追加
Ph	N-5984 (錠)	糖尿病治療剤 抗肥満剤	日清製粉	選択性の高い α -3受容体作動薬。高血糖及び耐糖能、高インスリン血症を改善すると共に血漿中TG、FFAを低下させる。	*日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発

開発品一覧 (2002年9月30日現在)

その他の開発品 (一部変更承認)

開発段階	製品名・開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
申 請 (01年12月)	ムコダインDS	気道粘液調整 粘膜正常化剤	自社開発	半溶解型製剤で服用しやすく、また小児にも好まれるピーチ味の製剤	処方変更 小児適用 <成人用> *2001年7月6日薬価収載

導出品の状況

	製品名・開発コード	導出先	開発段階	薬効	起 源	備 考
導 出 製 品	ガチフロキサシン 注射剤	グリュネンタール社	Ph /	合成抗菌剤	自社	
	ガチフロキサシン 点眼液	アラガン社	*申請中 (2002年5月)	合成抗菌剤	自社	日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における 開発、製剤及び販売権を供与
		千寿製薬	Ph (国内)			日本における開発、製剤及び販売権を供与
KRP - 297	メルク社	Ph b (米国)	糖尿病治療剤	自社	日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における 研究開発及び販売権を供与	

新規事業の拡充 - 新しい事業開発の現状 -

1. ビストナー事業ファンドの状況

- ・設立 2000年9月
- ・出資額 50億円 (既出資計画 20億円 **出資額 11億円**)
- ・対象領域 「医薬品関連」「医療関連」「介護関連」「健康関連」

投資案件

領域
< 医薬品領域 > ゲノム創薬など
< 医療領域 > 代替医療 再生医療 ITなど
< 介護領域 > 施設経営 在宅介護 関連製品など
< 健康領域 > 食品 化粧品など



投資件数	投資先の事業内容
2	<ul style="list-style-type: none"> ・殺菌消毒剤（食肉用等） ・ウイルス性肝炎、関節リウマチ等の治療薬開発
5	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問歯科診療の管理・運営 ・C型肝炎の温熱治療装置・治療法の開発 ・非侵襲的医療機器の開発 ・レーザーによる近視治療の事業化 ・医学文献 / 医療情報等のネットワーク配信サービス
3	<ul style="list-style-type: none"> ・有機汚泥処理システム（介護用トイレなど）の事業化 ・介護施設の運営・コンサルタント ・介護ヘルパー用等ASPソフト開発 / 販売
7	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品 / 健康食品通信販売 ・汚水処理用各種担体の事業化 ・証券会社（中国の漢方、健食等の情報強化） ・農業用資材 / 農産物流通事業 ・食品素材開発 ・スキンケア用品開発 / 販売（2社）

合計 17 件投資

2003年3月期 中間決算概要

財務諸表の概況

損益計算書の概要(1)

< 単体 >

(単位:百万円)	2002年3月期中間		2003年3月期中間			
	実績	売上高 構成比	実績	対前年		売上高 構成比
				増減額	増減率	
売上高	28,695	100.0%	31,164	2,468	8.6%	100.0%
売上原価	9,163	31.9%	9,315	151	1.7%	29.9%
販売費及び一般管理費	15,743	54.9%	17,109	1,366	8.7%	54.9%
うち研究開発費	2,954	10.3%	3,130	176	6.0%	10.0%
営業利益	3,788	13.2%	4,739	950	25.1%	15.2%
営業外収益	188	0.7%	200	12	6.6%	0.6%
営業外費用	102	0.4%	313	210	205.0%	1.0%
経常利益	3,874	13.5%	4,626	752	19.4%	14.8%
特別利益	36	0.1%	31	5	14.3%	0.1%
特別損失	1,976	6.9%	1,965	10	0.6%	6.3%
税引き前当期利益	1,935	6.7%	2,693	758	39.2%	8.6%
当期純利益	867	3.0%	1,319	452	52.1%	4.2%

損益計算書の概要(2)

売上原価 9,315百万円 (+2億円増)
 売上原価率 31.9% 29.9% (2.0ポイント)

【プラス要因】

ガチフロキサシン効果

【上昇要因】

薬価改定に伴う仕切価の低下(薬価改定率8.2%)

販管費 17,109百万円(+14億円増)
 販管費率 54.9% 54.9%(±0)

【販管費増加要因】

ガチフロ上市による販売費の増加

希望退職に伴う退職加算の発生、人件費自然増

研究開発費の増加 3,130百万円(+2億増)

* 新薬開発及び創薬研究強化に伴う研究開発費の増加

【販管費率低下要因】

売上高増加とその他コストの管理強化

営業利益 4,739百万円 (+10億円増)
 営業利益率 13.2% 15.2% (+2.0ポイント上昇)
 売上原価率及び販管費率の低減により2.0ポイント上昇

経常利益 4,626百万円 (+8億円増)
 経常利益率 13.5% 14.8% (+1.3ポイント上昇)

【営業外収益】 12百万円増

【営業外費用】 210百万円増
 製・商品の除却損の発生

当期純利益 1,319百万円 (+5億円増)

【特別損失】

退職給付債務の償却 1,590百万円
 (2001年3月期より償却;最終年)

有価証券評価損 355百万円

貸借対照表の概要(1)

< 単体 >

(単位:百万円)	2002年3月期 中間		2003年3月期 中間		
	実績	構成比	実績	前年増減額	構成比
流動資産	93,135	73.4%	89,738	3,396	67.1%
現金及び預金	60,049		52,158		
受取手形	482		439		
売掛金	18,331		18,555		
有価証券	3,399		1,906		
棚卸資産	8,163		11,162		
その他流動資産	2,708		5,515		
固定資産	33,694	26.6%	43,957	10,263	32.9%
有形固定資産	13,850		15,376		
無形固定資産	7,020		5,970		
投資その他	12,823		22,611		
資産合計	126,829	100.0%	133,696	6,867	100.0%

流動資産 (3,396百万円減)

- ・現金及び預金の減少 (7,891百万円減)
- ・受取手形、売掛金の増加 (181百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (2,998百万円増)

固定資産 (10,263百万円増)

- ・有形固定資産の増加 (1,526百万円増)
- ・無形固定資産の減少 (1,050百万円減)
- *ミルトンの減価償却など
- ・投資その他 (9,787百万円増)

貸借対照表の概要(2)

< 単体 >

(単位:百万円)	2002年3月期 中間		2003年3月期 中間		
	実績	構成比	実績	対前年増減額	構成比
流動負債	14,770	11.6%	14,787	16	11.1%
支払手形	1,036		965		
買掛金	4,696		2,825		
その他	9,037		10,996		
固定負債	12,267	9.7%	16,554	4,286	12.4%
負債合計	27,038	21.3%	31,341	4,303	23.5%
資本金	3,623	2.9%	4,317		3.2%
資本準備金	1,642	1.3%			
利益準備金	905	0.7%			
その他の剰余金	93,861	74.0%			
資本剰余金			949		0.7%
利益剰余金			97,879		73.2%
有価証券評価差額金	243	0.2%	269		0.2%
自己株式			522		0.4%
資本合計	99,791	78.7%	102,355	2,563	76.5%
総資産合計	126,829	100.0%	133,696	6,867	100.0%

流動負債 (16百万円増)

・支払手形、買掛金の減少 (1,942百万円減)

・その他 (1,958百万円増)

固定負債 (4,286百万円増)

研究開発・設備投資・減価償却の状況

(単位：百万円)

	98年9月期	99年9月期	00年9月期	01年9月期	02年9月期		03年3月期 (見込み)
					実績	前同比	
研究開発費	2,564	2,616	2,795	2,954	3,130	6.0%	7,300
設備投資(計上ベース)	427	343	1,099	950	2,448	157.7%	5,300
減価償却費	1,296	1,435	1,312	1,518	1,597	5.2%	3,500

< 設備投資の状況(実績/計画) >

02年3月期
実績

03年3月期
中間実績 通期計画

(実績)

新製品製造設備・製造機械設備(各工場) 8億円

社宅・寮新築(能代工場) 4億円

(計画)

キョラボ設備化 4億円 10億円

新製品製造設備・製造機械設備(各工場) 14億円 26億円

管理・販売設備 3億円 10億円

支店社屋新築(仙台)など支店社屋関係 3億円 5億円

損益計算書の概要：連結

< 連結 >

(単位：百万円)

	0 1 年 9 月 期		0 2 年 9 月 期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	29,293	100.0%	31,878	100.0%	8.8%	2,585
売上原価	9,613	32.8%	9,848	30.9%	2.4%	235
売上総利益	19,679	67.2%	22,029	69.1%	11.9%	2,350
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	15,847 (2,954)	54.1% (10.1%)	17,222 (3,130)	54.0% (9.8%)	8.7% (6.0%)	1,375 176
営業利益	3,831	13.1%	4,806	15.1%	25.4%	975
営業外収益	214	0.7%	324	1.0%	51.8%	110
営業外費用	98	0.3%	226	0.7%	129.5%	127
経常利益	3,946	13.5%	4,904	15.4%	24.3%	958
特別利益	36	0.1%	23	0.1%	35.0%	12
特別損失	1,976	6.7%	1,965	6.2%	0.6%	10
税引き前当期利益	2,007	6.9%	2,963	9.3%	47.6%	956
法人税・住民税 および事業税	2,058	7.0%	2,722	8.5%	32.3%	664
法人税等調整額	922	3.2%	1,315	4.1%		392
中間純利益	871	3.0%	1,555	4.9%	78.5%	684

< 当期のポイント >

< 適応範囲及び持分法の適用について >

連結子会社 5 社：(株)杏文堂 (株)ビストナー
 ビストナー番号投資事業有限責任組合
 Kyorin USA, Inc Kyorin Europe GmbH
 持分法適応会社 2 社：日清キョーリン製薬(株)
 日本理化学薬品(株)

	0 1 / 9	0 2 / 9	(億円)
売上高	293	319	
(医薬品事業)	287	312	(+25)
< 医療用医薬品：国内 > = 製品別売上 =	211	262	(+51)
ムコダイン	76	74	
バクシダール	8	6	
ケタス	37	36	
アブレース	21	18	
ロカルトロール	19	16	
ペンタサ	22	26	
キプレス	17	25	
ガチフロ	0	19	
< 医療用医薬品：海外 >	60	32	(-28)
ノルフロキサシン	10	8	
ガチフロキサシン	48	19	
< 医薬品事業のその他 >	16	18	(+2)
うち ミルトン	14	16	
(その他事業)	6	7	(+1)
* 販売促進・広告の企画制作			

損益計算書の概要：単体 -

< 単体 >

(単位：百万円)

	0 1 年 9 月 期		0 2 年 9 月 期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	28,695	100.0%	31,164	100.0%	8.6%	2,468
国内医療用	21,116	73.6%	26,212	84.1%	24.1%	5,096
海外医療用	5,984	20.9%	3,191	10.2%	46.7%	2,793
その他	1,595	5.6%	1,759	5.6%	10.3%	164

< 当期のポイント >

売上高 31,164百万円 (+25億円)
 < 国内医療用 > 26,212百万円 (+51億円)

= プラス要因 =

	前期実績	当期実績
新薬：・ガチフロ上市	0	19(+19)
		* 杏林売上のみ
・キプレス続申	17	25(+8)
・その他	11	42(+31)
(その他のプラス要因)		
		* 大日本製薬へのガチフロ売上及び 契約一時金収入

= マイナス要因 =

* 薬価改定に伴う仕切価の低下 (薬価改定率 8.2%)		
主要既存品計	183	176(-7)
・アプレース	21	18(-3)
・ロカルトロール	19	16(-3)

< 海外医療用 > 3,191百万円 (28億円)

・ガチフロ 48 19(-29)

* BMS社の過剰在庫によりガチフロキサシンの
輸出大幅減

< その他 > (+2億円)

・ミルトン 14 16(+2)

損益計算書の概要：単体 -

< 単体 >

(単位：百万円)

	0 1 年 9 月 期		0 2 年 9 月 期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上原価	9,163	31.9%	9,315	29.9%	1.7%	151
売上総利益	19,531	68.1%	21,848	70.1%	11.9%	2,316
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	15,743 (2,954)	54.9% (10.3%)	17,109 (3,130)	54.9% 10.0%	8.7% (6.0%)	1,366 (176)
営業利益	3,788	13.2%	4,739	15.2%	25.1%	950
営業外収益	188	0.7%	200	0.6%	6.6%	12
営業外費用	102	0.4%	313	1.0%	205.0%	210
経常利益	3,874	13.5%	4,626	14.8%	19.4%	752
特別利益	36	0.1%	31	0.1%	14.3%	5
特別損失	1,976	6.9%	1,965	6.3%	0.6%	10
税引き前当期利益	1,935	6.7%	2,693	8.6%	39.2%	758
法人税・住民税 および事業税	2,016	7.0%	2,671	8.6%	32.5%	654
法人税等調整額	949	3.3%	1,297	4.2%		348
中間純利益	867	3.0%	1,319	4.2%	52.1%	452

< 当期のポイント >

売上原価 9,315百万円 (+2億円増)
 売上原価率 31.9% 29.9% (2.0ポイント)

【プラス要因】

ガチフロキサシン効果

【上昇要因】

薬価改定に伴う仕切価の低下(薬価改定率8.2%)

販管費 17,109百万円(+14億円増)

販管費率 54.9% 54.9%(±0)

【販管費増加要因】

ガチフロ上市による販売費の増加

希望退職に伴う退職加算の発生、人件費自然増

研究開発費の増加 3,130百万円(+2億円増)

* 新薬開発及び創薬研究強化に伴う研究開発費の増加

【販管費率低下要因】

売上高増加とその他コストの管理強化

営業利益 4,739百万円 (+10億円増)

営業利益率 13.2% 15.2%(+2.0ポイント上昇)

売上原価率及び販管費率の低減により2.0ポイント上昇

経常利益 4,626百万円 (+8億円増)

経常利益率 13.5% 14.8% (+1.3ポイント上昇)

【営業外収益】 12百万円増

【営業外費用】 210百万円増

製・商品の除却損の発生

当期純利益 1,319百万円 (+5億円増)

【特別損失】

退職給付債務の償却 1,590百万円

(2001年3月期より償却;最終年)

有価証券評価損 355百万円

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

< 連結 >	01年9月期		02年9月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年増減額
流動資産	94,408	74.1%	91,376	67.7%	3,032
現金および預金	60,909		53,104		
受取手形及び売掛金	19,123		19,515		
有価証券	3,469		2,017		
棚卸資産	8,230		11,165		
その他流動資産	2,675		5,572		
固定資産	33,074	25.9%	43,641	32.3%	10,566
有形固定資産	13,887		15,427		
無形固定資産	7,020		5,971		
投資その他	12,166		22,242		
流動負債	15,028	11.8%	15,146	11.2%	118
支払手形及び買掛金	6,306		4,482		
その他流動負債	8,722		10,664		
固定負債	12,347	9.7%	16,643	12.3%	4,295
負債合計	27,376	21.5%	31,789	23.5%	4,413
資本金	3,623	2.8%	4,317	3.2%	
資本準備金	1,642	1.3%			
連結剰余金	95,051	74.6%			
資本剰余金			949	0.7%	
利益剰余金			98,724	73.1%	
その他有価証券評価差額金	219	0.2%	244	0.1%	
為替換算調整勘定	9	0.0%	3	0.0%	
自己株式	0	0.0%	522	0.4%	
資本合計	100,107	78.5%	103,228	76.5%	3,120
総資産合計	127,483	100.0%	135,017	100.0%	7,534

< 当期のポイント >

流動資産 (3,032百万円減)

- ・現金及び預金の減少 (7,805百万円減)
- ・受取手形、売掛金の増加 (392百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (2,935百万円増)

固定資産 (10,566百万円増)

- ・有形固定資産の増加 (1,539百万円増)
- ・無形固定資産の減少 (1,049百万円減)
- ・投資その他 (10,076百万円増)

流動負債 (118百万円増)

- ・支払手形、買掛金の減少 (1,823百万円減)
- ・その他 (1,941百万円増)

固定負債 (4,295百万円増)

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

< 単体 >	01年9月期		02年9月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年増減額
流動資産	93,135	73.4%	89,738	67.1%	3,396
現金および預金	60,049		52,158		
受取手形	482		439		
売掛金	18,331		18,555		
有価証券	3,399		1,906		
棚卸資産	8,163		11,162		
その他流動資産	2,708		5,515		
固定資産	33,694	26.6%	43,957	32.9%	10,263
有形固定資産	13,850		15,376		
無形固定資産	7,020		5,970		
投資その他	12,823		22,611		
流動負債	14,770	11.6%	14,787	11.1%	16
支払手形	1,036		965		
買掛金	4,696		2,825		
その他流動負債	9,037		10,996		
固定負債	12,267	9.7%	16,554	12.4%	4,286
負債合計	27,038	21.3%	31,341	23.5%	4,303
資本金	3,623	2.9%	4,317	3.2%	
資本準備金	1,642	1.3%			
利益準備金	905	0.7%			
その他の剰余金	93,861	74.0%			
資本剰余金			949	0.7%	
利益剰余金			97,879	73.2%	
その他有価証券評価差額金	243	0.2%	269	0.2%	
自己株式			522	0.4%	
資本合計	99,791	78.7%	102,355	76.5%	2,563
総資産合計	126,829	100.0%	133,696	100.0%	6,867

< 当期のポイント >

流動資産 (3,396百万円減)

- ・現金及び預金の減少 (7,891百万円減)
- ・受取手形、売掛金の増加 (181百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (2,998百万円増)

固定資産 (10,263百万円増)

- ・有形固定資産の増加 (1,526百万円増)
- ・無形固定資産の減少 (1,050百万円減)
- *ミルトンの減価償却など
- ・投資その他 (9,787百万円増)

流動負債 (16百万円増)

- ・支払手形、買掛金の減少 (1,942百万円減)
- ・その他 (1,958百万円増)

固定負債 (4,286百万円増)

製品売上の状況

(単位:億円)

	99年9月期	00年9月期	01年9月期	02年9月期		02年3月期 (実績)	03年3月期 (見込み)	
				実績	前同比			
国内 上 売	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)		17	25	44.5%	31	71	
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)			19			85	
	ムコダイン (去痰剤)	66	70	76	74	4.2%	175	175
	バクシダール (合成抗菌剤)	11	9	8	6	30.5%	17	10
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	33	37	37	36	3.9%	75	85
	アブレース (抗潰瘍剤)	24	23	21	18	18.6%	43	34
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	18	19	19	16	16.1%	38	32
	ペントサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	15	19	22	26	19.3%	45	54
OTC								
	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	15	14	14	16	5.9%	29	31
海外 上 売	海外売上合計	26	35	59	31	46.7%	121	75
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	7	20	48	19	59.5%	98	46
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	12	11	10	8	17.3%	18	14
	海外売上比率	11.5%	14.0%	20.9%	10.2%		20.1%	10.6%
	自社品比率	82.3%	81.4%	84.0%	83.1%		84.0%	85.1%

主な業績項目の推移：連結

< 半 期 >

< 通 期 > (単位：百万円)

	00年9月期	01年9月期	02年9月期	02年3月期	03年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	26,210 (3,589)	29,293 (5,984)	31,878 (3,191)	62,395 (12,127)	71,900 (7,500)
売上原価 (売上原価率) %	8,681 (33.1%)	9,613 (32.8%)	9,848 (30.9%)	19,336 (31.0%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率) %	14,010 (53.5%)	15,847 (54.1%)	17,222 (54.0%)	31,101 (49.8%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率) %	2,795 (10.7%)	2,954 (10.1%)	3,130 (9.8%)	6,031 (9.7%)	7,300 (10.2%)
営業利益 (営業利益率) %	3,518 (13.4%)	3,831 (13.1%)	4,806 (15.1%)	11,957 (19.2%)	14,300 (19.9%)
経常利益 (経常利益率) %	3,778 (14.4%)	3,946 (13.5%)	4,904 (15.4%)	12,210 (19.6%)	14,300 (19.9%)
当期利益 (当期利益率) %	985 (3.7%)	871 (3.0%)	1,555 (4.9%)	4,117 (6.6%)	5,400 (7.5%)
一株当たり当期利益(円)	17.11円	15.14円	18.05円	60.55円	62.66円
資本金	3,623	3,623	4,317	4,317	4,317
総資産	119,249	127,483	135,017	134,472	
株主資本	98,522	100,107	103,228	102,356	
一株当たり株主資本(円)	1,711円	1,739円	1,197円	1,187円	
株主資本利益率 %	1.0 %	0.9 %	1.5 %	4.1 %	
株主資本比率 %	82.6 %	78.5 %	76.5 %	76.1 %	
人員(人)	1,724人	1,746人	1,757人	1,731人	
設備投資	1,099	950	2,448	2,507	5,300
減価償却費	1,312	1,518	1,603	3,207	3,500

02年3月期の1株あたりの当期利益は年間期中平均株式数(67,996,650株)にて算出しております。

主な業績項目の推移：単体

< 半 期 >

< 通 期 > (単位：百万円)

	98年9月期	99年9月期	00年9月期	01年9月期	02年9月期	02年3月期	03年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	20,277 (2,431)	23,238 (2,679)	25,620 (3,589)	28,695 (5,984)	31,164 (3,191)	61,131 (12,127)	70,600 (7,500)
売上原価 (売上原価率)%	6,020 (29.7%)	7,132 (30.7%)	8,234 (32.1%)	9,163 (31.9%)	9,315 (29.9%)	18,376 (30.1%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	12,805 (63.1%)	13,105 (56.4%)	13,897 (54.3%)	15,743 (54.9%)	17,109 (54.9%)	30,889 (50.5%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率)%	2,564 (12.6%)	2,616 (11.3%)	2,795 (10.9%)	2,954 (10.3%)	3,130 (10.0%)	6,031 (9.9%)	7,300 (10.3%)
営業利益 (営業利益率)%	1,452 (7.2%)	2,999 (12.9%)	3,488 (13.6%)	3,788 (13.2%)	4,739 (15.2%)	11,865 (19.4%)	14,300 (20.3%)
経常利益 (経常利益率)%	1,379 (6.8%)	3,118 (13.4%)	3,710 (14.5%)	3,874 (13.5%)	4,626 (14.8%)	11,816 (19.3%)	14,000 (19.8%)
当期利益 (当期利益率)%	506 (2.5%)	1,616 (7.0%)	949 (3.7%)	867 (3.0%)	1,319 (4.2%)	3,785 (6.2%)	5,200 (7.4%)
一株当たり当期利益(円)	8.80円	28.07円	16.49円	15.07円	15.31円	55.67円	60.34円
資本金	3,623	3,623	3,623	3,623	4,317	4,317	4,317
総資産	108,985	113,317	118,674	126,829	133,696	133,427	
株主資本	90,709	95,593	98,359	99,791	102,355	101,703	
一株当たり株主資本(円)	1,575円	1,660円	1,708円	1,733円	1,187円	1,179円	
株主資本利益率%	0.6%	1.7%	1.0%	0.9%	1.2%	3.8%	
株主資本比率%	83.2%	84.4%	82.9%	78.7%	76.5%	76.2%	
人員(人)	1,867人	1,798人	1,679人	1,692人	1,695人	1,671人	
設備投資	427	343	1,099	950	2,448	2,507	5,300
減価償却費	1,296	1,435	1,312	1,518	1,597	3,207	3,500

02年3月期の1株あたりの当期利益は年間期中平均株式数(67,996,650株)にて算出しております。